

## 滋賀県立高等学校再編計画(原案)説明会 意見概要 <長浜会場>

日 時 平成23年(2011年)7月31日(日) 14:30~17:10  
場 所 長浜市民交流センター ふれあいホール(参加者121名:発言16名)  
主 意 見 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

平成26年度以降も生徒数は減少しない。現時点で統合する必要はない。

特色ある学校づくりは統廃合しないとできないのか。

切磋琢磨は小規模な学校ではできないのか。支え合うことで切磋琢磨できる。学校規模は関係ない。

6~8学級規模でないと駄目なのか。

滋賀県の平均学級数は少ない。

滋賀県は教育にお金を使っていない。全国四十数番目である。

湖北の子どもたちにお金を使うことがもったいないのか。

3校の定時制課程の廃止を即刻撤回すべき。

能登川高校は県の中南部にあり、長浜北星高校の定時制の代わりにはなれない。湖北を定時制の空白にしないでほしい。

なぜ湖北の定時制を切り捨てるのか。なぜ能登川に設置するのか。

経済的な理由でどうしても働いて、アルバイトをして夜間に通わなければいけない生徒もいる。経済的に弱い人を救う必要がある。なぜ定時制を能登川にもっていくのか。

多様な生徒を抱えている定時制は、生徒が少ないから対応できている。定時制は全日制とは異なる。生徒が定員未充足だからという理由で廃止にするのはおかしい。

不登校の子どもが定時制に通っている。その子どもたちは体調や心理的な理由で無理してぎりぎりに通っている。昼間定時制ができて、能登川に移れば登校できない。

長浜北高校は魅力と活力ある学校づくりのトップなのになぜ廃校にするのか。長浜北高校には生徒が沢山行く。

活力がないから統合するというのは納得できない。長浜高校、長浜北高校ともに、部活も勉強も頑張ってきた。

長浜高校、虎姫高校、長浜北高校の普通科はそれぞれの特色があり、長浜北高校を無くすと、湖北に質的空白ができる。生徒のニーズに応えられない。

総合的判断とのことだが、なぜ長浜北高校が廃校になるのか分からない。統合校の姿も全く分からない。

数合わせに虎姫高校、長浜北星高校の定員を増やすというが、統合するときは100人くらい生徒が増える。生徒はどこに行くのか。皆南へ流れる。

長浜高校は福祉科、高等養護学校併設で校舎が手狭になっている。教室をどうするのか。

部活動を活性化するには、テニスコートやグラウンドを潰したら困る。教育環境は良くなるのか。

統合することにより、クラブの環境が良くなるとは思えない。

長浜北高校は廃校ではないというが、学籍簿だけ引き継いでも廃校と同じ。

長浜北高校 100周年記念式典での教育長の「北校の充実発展を願う」という式辞での言葉は嘘だったのか。保護者も教職員もだまされた思いである。

彦根以北を切り捨てて、滋賀県が成り立つのか。

長浜農業高校について、予算を削減するために1小学科を無くすとか考えられない。

魅力ある学校づくりの要素にノーマライゼーションをあげるのは違和感がある。障害のある人やお年寄りなどに配慮、支援するのは当たり前のことであり、どこの学校でも考えないといけない。

障害の重い友達などとの関わりを通して、高等部の生徒は3年間で自己を肯定するようになり成長する。長浜高等養護学校での人間関係を断ち切り、伊吹高校でノーマライゼーションはおかしい。

体育祭、文化祭、部活動などの交流の場がないとノーマライゼーションの理念に基づいた教育にはならない。

分教室に通う生徒は軽度の知的障害という制限を設ける一方で、ノーマライゼーションを語ることはできない。

伊吹高校には高等養護学校をつくって欲しい。

長浜養護学校の大規模化を解消するために求めているのは単独校の設置。大規模化を解消するための単なる数合わせの案である。

空き教室を利用した数合わせとしか思えない。

伊吹高校の教育カリキュラムと養護学校分教室での専門性を必要とする教育が両立できるとは思えない。

養護学校分教室と伊吹高校が併置されることに不安を感じる。どのようなビジョンでどのような準備をしたらよいのか。実施までに1年半しかない。

原案はベストであり、全く意見は受け入れられないのか。

長浜は圧倒的に反対が多い。

この計画は、子ども一人ひとりのためのものでもなく、みんなの意見を聴いたものでもなく上から押しつけられたもの。

現場教職員の意見を聴いてもらっていない。

市町を巻き込んで存続に取り組んだ学校は生き残ったとの噂がある。不公平を感じる。